

ものづくり・ことづくりプランコンテスト2025

応募用紙

提出日 2025年 月 日

フリガナ				部 門	☐ 個 人 ・ ☐ グループ (人)
氏 名	(個人・代表者名)				
学校名					
学科(コース)		学年	年	担 任 (担 当) の先生	先生
申請者住所					
申請者 TEL		mail			
●分野 ①ものづくり分野 ②ことづくり分野					
●タイトル					
●特徴(どのようなものづくり・ことづくりなのかのアイデア・プランを具体的に記入ください。図の利用も可。)					

●応募動機(なぜアイデア・プランを考え、応募したのかをご記入ください)

●サービス・機能・利用シーンなど(アイデア・プランにより、「だれが」、「何ができる」、「何をしてくれる」、「どのように使われる」などをご記入ください)

●実現にあたっての課題・問題点(アイデア・プランを実現する際に必要なものをご記入ください)

●自由記述(上記で書ききれなかったことをご記入ください)

* 以上の内容について資料がある場合は、申込書に添付して提出ください。

ものづくり・ことづくりプランコンテスト2025

応募用紙(記載例)

提出日 2025年11月30日

フリガナ	シズオカ コウタロウ			部 門	☒ 個 人 ・ ☐ グループ (人)
氏 名	(個人・代表者名) 静岡 工太郎				
学校名	袋井南高等学校				
学科(コース)	英数科 総合コース	学年	2 年	担任(担当)の先生	理工 太郎 先生
申請者住所	※高校単位での申込みの場合は、高校所在地でも構いません。				
申請者 TEL	※高校単位での申込みの場合は、担任(担当)の先生の連絡先でも構いません。	mail	※高校単位での申込みの場合は、担任(担当)の先生の連絡先でも構いません。		
●分野					
①ものづくり分野 ②ことづくり分野					
●タイトル					
すやすや赤ちゃんベッド					
●特徴(どのようなことづくり・ものづくりなのかのアイデア・プランを具体的に記入ください。図の利用も可。)					
赤ちゃんの泣き声に反応して、揺れてあやす赤ちゃん用のベッド。 赤ちゃんの両親が、だっこをした時の揺れを記憶して、その通りに揺れる機能をもつ。					
					

●応募動機(なぜアイデア・プランを考え、応募したのかをご記入ください)

赤ちゃんが産まれて、家で仕事をしているお姉さんが、赤ちゃんが泣くたびに仕事を中断している。泣いても親がだっこしている揺れを感じることができるベッドで赤ちゃんを寝かしつけることができれば、お姉さんの仕事もはかどると思った。

●サービス・機能・利用シーンなど(アイデア・プランにより、「だれが」、「何ができる」、「何をしてくれる」、「どのように使われる」などをご記入ください)

赤ちゃんが泣きだしても、自然と寝つかせることができる。
両親がいないときでも、赤ちゃんを寝つかせることができる。
両親は、赤ちゃんの泣き声を気にすることなく、他の仕事をすることができる。

●実現にあたっての課題・問題点(アイデア・プランを実現する際に必要なものをご記入ください)

両親が抱っこする揺れを記憶するセンサとその精度。
両親が抱っこする揺れを再現する正確な動作の制御。
両親の抱っこに近い環境(温度、感触)の再現。

●自由記述(上記で書ききれなかったことをご記入ください)

オプション機能

- ・おむつの濡れセンサで、おむつの替えどきを知らせる。
- ・授乳の時間(間隔)で、授乳をアドバイスする。

* 以上の内容について資料がある場合は、応募用紙に添付して提出ください。

ものづくり・ことづくりプランコンテスト2025

応募用紙(記載例)

提出日 2025年11月30日

フリガナ	シズオカ リタロウ			部 門	☐ 個人 ・ ☒ グループ (3 人)
氏 名	(個人・代表者名) 静岡 理太郎				
学校名	袋井南高等学校				
学科(コース)	英数科 総合コース	学年	1 年	担任(担当)の先生	袋井 理子 先生
申請者住所	※高校単位での申込みの場合は、高校所在地でも構いません。				
申請者 TEL	※高校単位での申込みの場合は、担任(担当)の先生の連絡先でも構いません。	mail	※高校単位での申込みの場合は、担任(担当)の先生の連絡先でも構いません。		
●分野 ①ものづくり分野 ②ことづくり分野					
●タイトル 冷蔵庫と同期するスマートフォン					
●特徴(どのようなことづくり・ものづくりなのかのアイデア・プランを具体的に記入ください。図の利用も可。) 冷蔵庫のドアにカメラを、ドアポケットに重量センサを設ける。 画像認識と重量センサで、冷蔵庫に保管された食品の種類と購入日、残り量を記憶する。 データをスマートフォンと同期させ、買い物時に買う量や種類をアドバイスする。 					

●応募動機(なぜアイデア・プランを考え、応募したのかをご記入ください)

冷蔵庫の中の食品を確認しないで家族と一緒に買い物に行って、いつも無駄な買い物をしてしまう。結果として消費期限が過ぎてしまい、廃棄してしまうことが多い。

効率よく買い物ができ、また、買い忘れもなくなるようにしたいと考えた。

●サービス・機能・利用シーンなど(アイデア・プランにより、「だれが」、「何ができる」、「何をしてくれる」、「どのように使われる」などをご記入ください)

食品の在庫管理(いつ、何を、どれだけ買ったか、残りの量はどれだけあるか)

買い物する家族が、必要なとき(外出時)に冷蔵庫の在庫が確認できる。

食品ごとに消費期限の警告がでる。

家族は、消費期限が残り少ない食品が簡単にわかる。

●実現にあたっての課題・問題点(アイデア・プランを実現する際に必要なものをご記入ください)

画像認識(読み取り)が可能かどうか？また、その精度。

カメラの取り付けの仕組み。

●自由記述(上記で書ききれなかったことをご記入ください)

冷蔵庫に直接カメラを埋め込むのではなく、冷蔵庫の扉の前に独立したカメラを設置することで、どんな冷蔵庫にでも使えることが可能となります。

食品を出し入れしている映像を記録しておけば、買い物時に巻き戻して、いままで使用した食品(食材)を確認することもできます。

* 以上の内容について資料がある場合は、応募用紙に添付して提出ください。